



オルソ画像の共同更新について紹介します

(1/2)

今回紹介する団体： 鹿児島県 県内各市町村 水土里ネット鹿児島
鹿児島県水土里情報推進協議会

取組概要

内容：水土里情報利活用促進事業で、既に整備したオルソ画像について、平成26年度から各市町村の要望に合わせた整備内容で共同更新を実施。

経緯：①平成24年2月にオルソ画像の更新に係るアンケート調査を実施したところ、97%の市町村がオルソ画像の更新を希望。

②このことから鹿児島県水土里情報推進協議会は、コスト的に有利な複数市町村で一括にて更新するオルソ画像の共同更新を検討。

③オルソ画像の共同更新の方法について、下記の「権利区分による比較表」により著作権等の説明を行った結果、35市町村(82%)がタイプ2によるオルソ画像の共同更新を希望した。

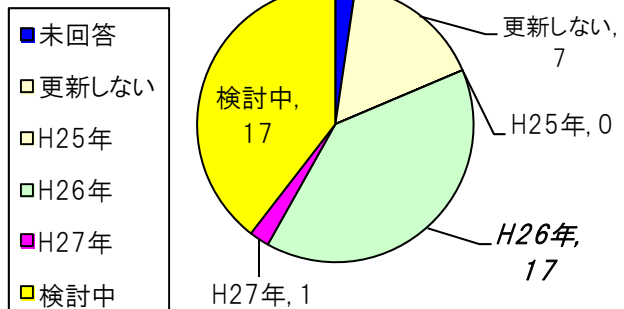
④ このことを受けてタイプ2により、平成26年度から、17市町村を対象に共同更新を行う予定。

市町村会でのオルソ画像共同更新説明会の様子



オルソ画像更新に関するアンケート調査の結果 (平成25年7月実施)

希望更新年度の割合



権利区分による比較表

※「タイプ2」を有効な権利区分として提案を行った。

区分		タイプ1	タイプ2	タイプ3
発注者	権利区分	著作権	共同著作権独立使用权	非独立使用权
	利用条件	全ての権利を有する	使用する内容に制限を受けない	一定の使用許可範囲でしか利用出来ない
受託者	権利区分	×	共同著作権	著作権
	利用条件	販売等は出来ない。	販売行為が可能	販売行為が可能
コスト		高	中・低	低
評価		○	◎	△

期待される効果

- ① 複数市町村で広域な範囲を一括で発注するため、オルソ画像の品質確保と、整備コストの削減が図られる。
- ② 共同著作権(使用する内容に制限を受けない)で整備することにより、さらなるコスト削減が図られる。
- ③ 各市町村単位で要望に応じた精度(1/1000や1/2500等)で整備することが可能となる。

今後の活用予定

- ・ DSM(地表面の高さ)を取得したオルソ画像の整備をすることで、既存の3次元システムデータの更新に活用する予定。
- ・ 前回整備のデータと今回整備のデータの経年変化に伴う高さの変化を差分として抽出することにより、地形変更や家屋移動の判読等様々な業務への活用を予定。
- ・ 共同更新を平成26年度に開始し、毎年市町村の要望に合わせたオーダーメイドのオルソ画像更新を継続的に実施する予定。

数値表層モデル(DSM)を用いた3次元地図



■お問い合わせ先

鹿児島県農政部農地保全課	099-286-3243(直通)
鹿児島県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター	099-223-6347(直通)
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)	03-6744-2212(直通)